

市民と野党が力あわせ 新しい未来をひらこう

憲法を踏みにじって「戦争法」を強行

安倍政権は、憲法学者の9割が「憲法違反」の声を上げ、国民の8割が反対したにもかかわらず、安保法制（戦争法）の成立を強行しました。民主主義と、憲法にもとづく政治（立憲主義）の破壊です。戦争法は、憲法9条を踏みにじり、アメリカの戦争に世界中で参戦できる仕組みをつくるものです。自衛隊員が海外で「殺し殺される」戦闘に参加する危険が高まっています。安倍政権に審判を下し、立憲主義と平和主義を回復させましょう。

改憲で平和主義も 基本的人権も破壊

参議院でも改憲派を3分の2の多数派にし、憲法改定を実現したい——これが安倍首相の野望です。自民党改憲案は、憲法9条を変えて「国防軍」を明記し、他国の戦争に参加する集団的自衛権を容認。「公益」のため人権を制限できるとし、「緊急事態」で首相の独裁体制をつくるなど、「権力をしぶる憲法」から「国民をしぶる憲法」へと全面的に変えるものです。

参院選で

ストップ
を!

安倍政権の
暴走に

民意に背を向け基地を押しつけ

沖縄で元米海兵隊員による20歳の女性死体遺棄事件が起きました。沖縄県民は「殴り込み」部隊・海兵隊の撤去はじめ米軍基地の縮小・撤去、米軍に特権を与える日米地位協定抜本改定を求めています。安倍政権は、この民意に背を向け、名護市辺野古の海を埋め立て、新たな米軍基地建設を沖縄に押し付けようとしています。

史上最大の大軍拡で暮らしを破壊

安倍政権は今年度、史上最大の5兆円超の軍拡予算を計上しました。「海外で戦争する」自衛隊づくりをすすめています。軍拡の一方で、社会保障予算の削減や庶民への大増税をはかろうとしています。

16年6月発行

日本平和委員会

一人ひとりの平和の願いを
もとに行動する平和NGOです
<http://j-peace.org/>

東京都港区芝1-4-9平和会館4階
TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277

7月の参院選挙(7/10投開票)は、日本の未来を左右する大事な選挙です。憲法がないがしろにし、再び日本を「海外で戦争する」国にしようとする安倍政権の暴走にストップをかけようと、32全ての1人区で市民と野党の統一候補が生まれました。平和憲法を未来に残す選択を呼びかけます。

暴走3

暴走4